

大学の世界展開力強化事業（平成 30 年度採択）中間評価結果

大 学 名	琉球大学
整 理 番 号	AA06
事 業 名	「COIL 型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成」

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
コメント	<p>本プログラムは太平洋地域の持続的発展をコンセプトとして、地域特性を利用し全学的にSDGsを取り入れたユニークな取組である。貴学を核にハワイ、グアム、パラオ等の島嶼地域との交流を通じて、その発展と課題解決に資する人材を育成することを目的とし、大学の副専攻を中心に COIL 型教育を導入し全学のプログラムとして整備して、学生交流プログラムを通じた太平洋島嶼地域のグローバルリーダーを育成することを目指し実施している。</p> <p>プログラムは事業計画において掲げた目標に沿って COIL 型教育手法を活用した授業科目が提供され、交流学生数の数値目標も概ね達成しており、順調に大学間交流が行われている。また、専任スタッフによる学生支援の充実や、クォーター制度の拡充などの支援体制や環境整備も順調に進捗している。質の保証に関しても全学的組織として大学教育支援部門を設置したことにより、一元的に担当する体制が構築され、英語運用能力を測るグローバル・モジュール等、各指標を利用して質の保証を実施し、目標達成までの道筋を明確に示す取組が行われている。</p> <p>一方で、これまで学内での事業計画の整備、実施に重点が置かれていたが、本プログラムにおいて開発された COIL 型教育のコンテンツや評価に関する検証を充実させるため、大学間交流を強化し共通指標の運用やプログラムの共同開発等の取組が望まれる。また、今後、外部評価委員会からの評価結果等をプログラム運営へ適切に反映することが求められる。このほか、学生交流に関して目標とする統合型・特定課題型リーダー育成に向かって、現地の同窓会や県人会等を活用した課題解決のための仕組み作りやキャリア形成に関わる支援等、より一層の具体的な取組が期待される。</p> <p>最後に、今後も本プログラム終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け積極的なプログラム展開に取り組まれることを期待する。</p>